松江市地域子育て支援拠点事業の概要

＝今日までの歩み＝

地域子育て支援拠点としての松江市子育て支援センターは、平成11年7月に市民活動センター3階に開設され、「おもちゃの図書館」（昭和60年5月、心身に障害を持った子どもたちがおもちゃを通して楽しく遊べる場として千鳥町の総合福祉センター2 階に開設）と、「おもちゃの広場」（平成8年10月、市民活動センター2 階に開設）を付属施設として事業を開始した。

平成17年3月31日の市町村合併により、松江市子育て支援センターを中核として、おもちゃの広場、美保関、たまゆ、宍道、鹿島、やくもをサテライトとして位置づけ、地域の特色を生かした活動を実施し、連携を図りながら事業を進めた。

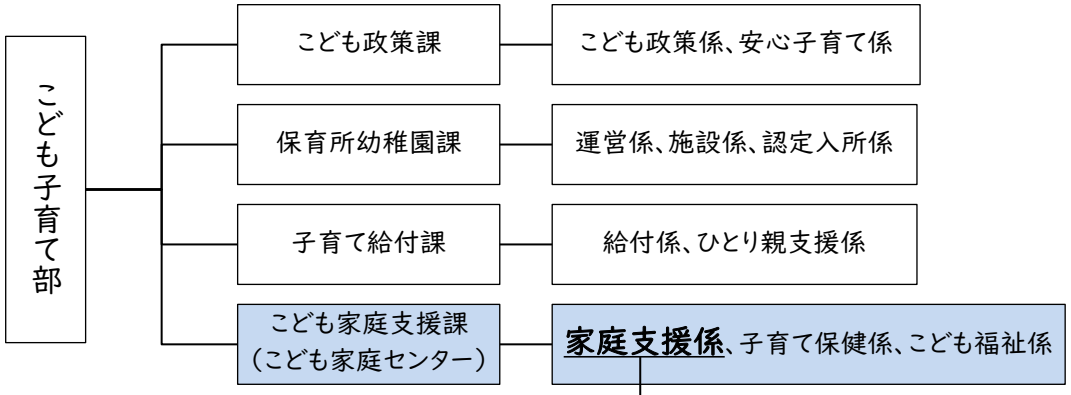
平成17年8月1日から松江市保健福祉総合センター1階に「おもちゃの図書館」と共に移転、統合し、『松江市子育て支援センター「あいあい」』として事業を開始した。

平成19年4月1日からは松江赤十字乳児院、平成23年8月1日の市町村合併により東出雲子育て支援センターも加わり、現在松江市には9箇所の子育て支援センターがある。

松江市全域で毎日いずれかの子育て支援センターが開所している。特に、土曜日・日曜日・祝日などにも開所しているあいあい、おもちゃの広場、鹿島子育て支援センターは、両親子での来所、祖父母の利用も多い。父親の利用が増え、父親の育児参加が多くなっていることが伺える。子育て中の親子にとって利用しやすくなっている。

雨の日の遊び場の充実に向け、R5年12月から土曜、祝日のみ、保健福祉総合センター2 階に「わいわいルーム」を開設した。主に3～5歳児の親子を対象とし、親子で身体を動かして遊べる場を提供している。

〇子育て支援組織体系図



地域子育て支援拠点施設	直営	・あいあい ・おもちゃの広場 ・美保関子育て支援センター ・たまゆつどいの広場 ・宍道子育て支援センター ・東出雲子育て支援センター
	指定管理者による管理施設	・鹿島子育て支援センター
	事業委託	・やくも子育て支援センター ・松江赤十字乳児院（育児サロン）
・まつえファミリーサポートセンター		